

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 7月 23日(火) 14411号



# 株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL: 06-6353-7831  
 FAX: 06-6353-7832  
 MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 79,200円 外電配送料 12か月 92,400円  
 6か月 39,600円 6か月 46,200円

## 産業電子機器5月受注 無線通信 反転マイナスに 超音波応用装置 116%増

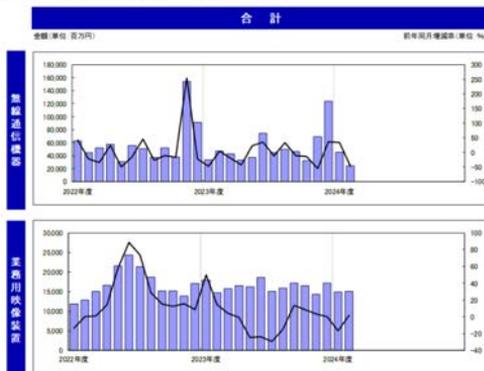
JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(津賀一宏会長)はこのほど、2024年5月の産業用電子機器受注統計をまとめ発表した。金額が最も大きい無線通信機器の受注計は247億16百万円、前年同月比は46.8%減で、2か月連続のプラスだった4月から反転マイナスとなった。

うち放送装置は30億64百万円、同11.1%減、固定通信装置は79億59百万円48.1%減、基地局通信装置1億95百万円95.6%減、移動局通信装置72億55百万円21.2%減、無線応用装置は62億44百万円55.5%減だった。

固定通信装置では、衛星系通信装置の内需が同81.4%減少。移動局通信装置では、携帯電話(自動車電話含

■グラフー金属 (単位:百万円)、前年同月比増減率(単位:%)



む)の内需が5.6%減少した。業務用映像装置は2.0%増の150億42百万円、超音波応用装置は116.9%増の147億72百万円、電気測定器は8.5%増の42億88百万円。

### 2024年5月 産業用電子機器 受注統計

	需要計				内需				外需			
	2024年5月	%	累計(4月~5月)	%	2024年5月	%	累計(4月~5月)	%	2024年5月	%	累計(4月~5月)	%
無線通信機器	24,716	53.2	69,879	87.2	19,483	47.2	57,840	83.9	5,233	100.7	12,039	107.6
放送装置	3,064	88.9	10,024	94.7	2,561	95.4	9,064	102.0	503	66.1	960	56.6
無線通信装置	15,408	53.2	32,817	67.8	12,111	45.8	27,718	64.3	3,297	132.1	5,099	96.3
固定通信装置	7,959	51.9	14,622	67.3	5,151	36.7	10,713	55.7	2,808	214.1	3,909	157.8
移動通信装置	7,449	54.7	18,195	68.2	6,960	56.0	17,006	71.2	489	41.3	1,190	42.2
基地局通信装置	195	4.4	1,461	16.4	131	4.0	1,282	19.1	63	5.7	179	8.1
移動局通信装置	7,255	78.8	16,734	94.0	6,829	74.7	15,724	91.5	426	632.5	1,011	164.5
無線応用装置	6,244	44.5	27,038	128.1	4,811	39.7	21,058	124.5	1,433	73.9	5,980	142.5
業務用映像装置	15,042	102.0	29,974	91.8	4,088	103.9	8,180	91.2	10,954	101.3	21,794	92.0
超音波応用装置	14,772	216.9	34,632	271.5	10,206	374.7	25,101	546.9	4,566	111.7	9,531	116.7
電気測定器	4,288	108.5	7,368	100.9	688	60.9	1,649	81.0	3,600	127.5	5,719	108.6



### 錫建値は100円引き上げ

7,000円

### 7月の月内平均価格は6,910円

三菱マテリアルは22日、高純度錫地金(99.99%フォーイン)の相対価格を100円引き上げの7,000円にすると発表、同日より適用した。2024年7月の月内平均価格は6,910円。

なお、前回は今月4日に改定。200円引き上げで6,900円。この時の平均価格は6,870円だった。直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内は平均)。

#### 2024年

2月	5,400(1)	5,300(21)	平均5,360		
3月	5,400(1)	5,550(11)	5,650(18)	平均5,550	
4月	5,650(1)	5,750(4)	6,450(15)	7,200(18)	
	8,000(23)	7,000(26)	平均6,460		

5月	6,500(1)	6,600(10)	6,850(20)	平均6,710
6月	6,800(3)	6,600(10)	6,550(24)	平均6,640
7月	6,700(1)	6,900(4)	7,000(22)	平均6,910

### 建具実績5月

### 生産・出荷量は前年割れ

### 4月比はすべてプラスに

サッシ協会

一般社団法人日本サッシ協会(平熊正三理事長)はこのほど、金属製建具の2024年5月生産・出荷実績を発表した。アルミニウムの生産は21,278トン、前年比99.8%、出荷は23,003トン、同96.9%と、ともに前年割れ。出荷金額は37,548百万円、同100.4%と横ばい。前月4月比のポイントはそれぞれ+1.1、+0.7、+1.6とすべてプラス。公表された一覧表の一部を次頁に掲載。

金属製建具実績 2024年5月

	生産					出荷					出荷金額				
	2023年5月	2024年4月	2024年5月	前月比	前年同月比	2023年5月	2024年4月	2024年5月	前月比	前年同月比	2023年5月	2024年4月	2024年5月	前月比	前年同月比
<b>アルミサッシ計</b>	9,650	9,202	9,276	100.8%	96.1%	11,483	10,641	10,536	99.0%	91.8%	21,246	20,457	20,692	101.1%	97.4%
木造住宅用アルミ	3,035	2,662	2,682	100.8%	88.4%	3,598	3,186	3,201	100.5%	89.0%	5,905	5,391	5,292	98.2%	89.6%
" アルミ樹脂複合	1,964	1,860	1,926	103.5%	98.1%	2,469	2,307	2,352	102.0%	95.3%	4,851	4,624	4,762	103.0%	98.2%
木造住宅用合計	4,999	4,522	4,608	101.9%	92.2%	6,067	5,493	5,553	101.1%	91.5%	10,756	10,016	10,054	100.4%	93.5%
サッシビル用	4,651	4,680	4,668	99.7%	100.4%	5,416	5,148	4,983	96.8%	92.0%	10,490	10,442	10,638	101.9%	101.4%
ドア	1,535	1,388	1,419	102.2%	92.4%	1,616	1,486	1,535	103.3%	95.0%	4,548	4,344	4,453	102.5%	97.9%
エクステリア	7,375	7,659	7,816	102.0%	106.0%	7,783	7,907	8,073	102.1%	103.7%	8,891	9,424	9,627	102.2%	108.3%
アルミニウム製室内建具	2,767	2,801	2,767	98.8%	100.0%	2,845	2,816	2,859	101.5%	100.5%	2,725	2,739	2,776	101.4%	101.9%
<b>アルミニウム製計</b>	21,327	21,050	21,278	101.1%	99.8%	23,727	22,850	23,003	100.7%	96.9%	37,410	36,964	37,548	101.6%	100.4%
<b>スチール・ステンレス</b>	633	620	522	84.2%	82.5%	650	617	531	86.1%	81.7%	439	414	406	97.9%	92.4%
ドア	4,757	4,636	4,601	99.2%	96.7%	6,272	6,594	6,353	96.3%	101.3%	4,902	5,123	4,919	96.0%	100.4%
サッシ+ドア	5,390	5,256	5,123	97.5%	95.0%	6,922	7,211	6,884	95.5%	99.5%	5,341	5,538	5,325	96.2%	99.7%
シャッター	7,387	7,877	7,580	98.2%	102.6%	7,241	7,887	7,739	98.1%	106.9%	4,056	4,253	4,006	94.2%	98.8%
<b>スチール又はステンレス製計</b>	12,777	13,133	12,703	96.7%	99.4%	14,163	15,098	14,623	96.9%	103.2%	9,396	9,791	9,331	95.3%	99.3%
<b>金属製建具</b>	34,104	34,183	33,981	99.4%	99.6%	37,890	37,948	37,626	99.2%	99.3%	46,806	46,755	46,879	100.3%	100.2%

※ 建材統計年報、建材統計月報

	第1四半期(4-6月)	第2四半期(7-9月)	上半期(4-9月)	第3四半期(10-12月)	第4四半期(1-3月)	下半期(10-3月)	2023年度計(4-3月)
業務用	115,887台	187,488台	303,375台	164,372台	128,015台	292,387台	595,762台
コンシューマ用	616,033台	657,370台	1,273,403台	727,150台	636,719台	1,363,869台	2,637,272台
合計	731,920台	844,858台	1,576,778台	891,522台	764,734台	1,656,256台	3,233,034台

2023年度ドライブレコーダー国内出荷実績 (JEITAウェブサイトより)

出所: JEITA・JDRC (一般社団法人ドライブレコーダー協議会)

ドラレコ第1四半期 前年度比3%減の73.1万台

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(津賀一宏会長)はこのほど、2024年度第1四半期(4月-6月)のドライブレコーダー国内出荷実績をまとめて発表した。合計は710,082台で、23年度同期の731,902台に比べ3%減。

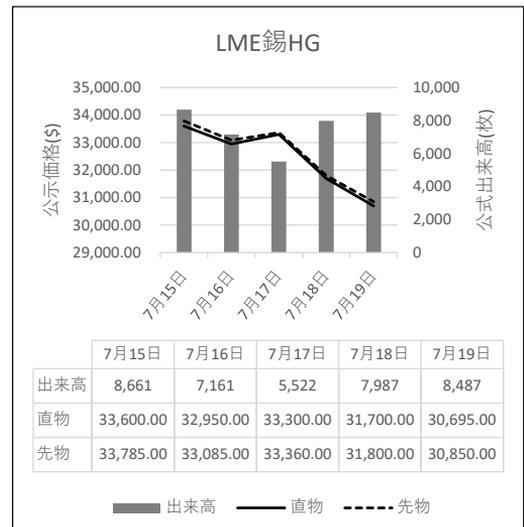
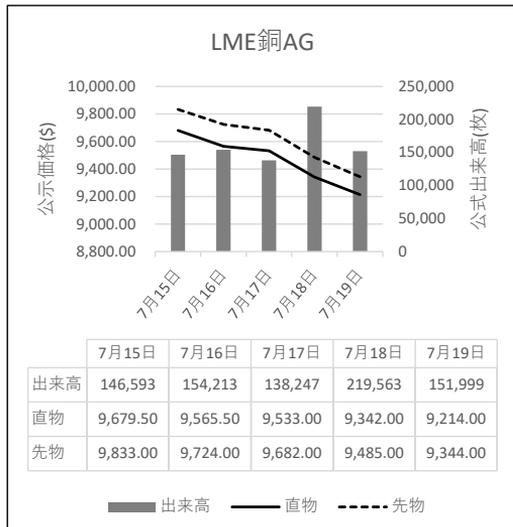
このうち業務用は58,839台、コンシューマ用は651,243台

で23年度に比べそれぞれ49.2%減、5.7%増となっている。業務用は22年度同期に比べると6分の1程度。

ドライブレコーダーの記録メディアの種類、録画方法、液晶ディスプレイの有無は問わない。業務用は運行管理や安全運転教育も目的として法人向けに設計されたモデル。コンシューマ用は事故時の映像記録を主目的とするもの。

統計参加企業は、アルプスアルパイン(株)、(株)JVCケンウッド、(株)デンソー、パイオニア(株)、パナソニックオートモーティブシステムズ(株)、矢崎エナジーシステム(株)、(株)ユピテル、(株)TCL、(株)コムテックの計9社。

LME公式値週間推移 7月15日~7月19日(現地)



※7月19日の出来高は速報値です。



JOGMECカレントトピックス (133)

## 自由貿易協定国として

～ニッケルLIB 注目の韓国 (上)～

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(高原一郎理事長)はこのほど、カレント・トピックス「ニッケルLIBサプライチェーンと韓国について」を公表した。金属企画部調査課、五十畑樹里氏が、バッテリーメタル特にニッケルに焦点を当て韓国の製錬フローや主要韓国企業を中心に動向をまとめており、その抜粋を(上)(下)に分けて紹介する。

## はじめに

米国で「インフレ抑制法(IRA)」が2022年8月16日に成立した。エネルギー安全保障や気候変動対策を掲げ、国内の製造業に対する投資を促進するほか、重要物資の調達については国内もしくはFTA(自由貿易協定)国からの調達を奨励し、調達元を多様化するものである。

このFTA国からの調達という点でアジアでは韓国が注目されるようになった。LG Chem社、Samsung社、SD社、SK-ON社など韓国電子機器メーカーのリチウムイオン電池(LIB)事業は活発だったが、製造国である日中韓の中で唯一のFTA国であるということが、さらに注目度を高めている。

韓国は、日本と同じくNCM(三元系)正極材の生産国であり、NCMの中で最も比率が高いのはニッケルとなる。ニッケルはNCM正極材の原材料の中で主要原材料であり、サプライチェーンが複雑である。

## 1. 韓国のEVバッテリー関連企業のニッケル製錬動向

韓国のバッテリーメーカーはバッテリー工場のみならず、正極材製造の拡大も計っており、POSCO社やEcoPro社といった韓国の製錬業の進展が注目される。また、IRAの観点からは、それら製錬所の原料ソースがどこになるのか、中国の関与がどの程度かがポイントになる。

韓国鉄鋼メーカーのPOSCO社が49%出資しているSNNC社が所有するGwangyang製錬所は、54千t/年ほどのフェロニッケル生産の生産能力を持っている。

原料となる鉱石はニューカレドニアSMSP社(Nickel Mining Company)から調達している。POSCO社は、今後はフェロニッケルだけでなく、電気自動車(EV)バッテリー向けにマットから高品位ニッケルを生産する精錬所を2022年10月14日に起工した。

POSCO社のプレスリリースによると、SNNC社でフェロニッケルから鉄分を除去しマット(品位：Ni 70～75%)を製造後、POSCO社の高品位ニッケル精錬プロセスによって、二次電池向け高品位ニッケルを生産する。硫酸ニッケルベースで生産能力は、20千t/年とされている。

生産された高品位ニッケルは、POSCO Chemical社などの二次電池正極材メーカーに供給される。なお、POSCO Chemical社は、同じくGFEZに正極材量で90千t/年の生産能力をもつ、ハイニッケル系正極材(NCMAとNCM)工場を2022年11月に建設した。2023年10月時点で、世界最大の正極材工場と言われている。

POSCO社は、バッテリー原料から正極材までの生産を一貫して行えるクラスターをGFEZに建設する計画であり、上記の他にも廃バッテリーリサイクル施設“POSCO HY Clean Metal”が2023年7月に完成し

ている。

このプロジェクトは、POSCO社、韓GS Energy社、中Zhejiang Huayou Cobalt社(浙江華友鉛業股份有限公司)のJVである。12千t/年のブラックマスの処理能力を持ち、ポーランドのバッテリーリサイクル工場PLSCで生産されたブラックマスを原料にバッテリー原料(硫酸ニッケル、硫酸コバルト、硫酸マンガン、炭酸リチウム)を生産する。

さらに、2023年5月には、中Zhejiang Huayou Cobalt社とPohang(浦項市)で前駆体工場の建設についてMoUを締結した。2027年までに完成予定とされている。

バッテリー原料供給元としては、先に述べたニューカレドニアとポーランドの他にインドネシアがある。Weda Bay工業団地で52千t/年のニッケルマットを生産する計画とSulawesi島で混合水酸化物(MHP)を最大120千t/年を生産する計画がある。このMHP生産プロジェクトは、中Ningbo Richin Industry & Trade社とのJVである。

POSCO社の他にも、複数の韓国企業がバッテリー向け精錬加工事業を開始しており、例えば、EcoPro社は、2006年にすでにNCA前駆体の生産を始めていたが、2016年にECOPRO BM社を立ち上げ、正極材(NCA、NCM等ハイニッケル系)事業を強化した。

インドネシアのHPAL(高圧酸浸出)プロジェクトPT QMB Energy Materialsに出資しているのも、このECOPRO BM社である。既に同プロジェクトは2022年8月に稼働を開始しており、韓国が輸入するMHPには同社のものが含まれていると推察される。

また、EcoPro社としては、インドネシアでMHP生産プロジェクトを計画しており、韓国企業SK-ON社、中GEM社とのJVである。本件は、30千t/年の生産目標で、2024年第3四半期に操業開始を予定している。原料となる鉱石は、インドネシアSulawesi島のHengjaya鉱山から調達する。

インドネシアは、ニッケルの最大生産国であるが、プロジェクトの開発、投資においては中国企業の存在感が大きい。昨今では上記の通り韓国企業も存在感を示しており、特にここ数年、中間製品と呼ばれるマットやMHPなどの製錬プロジェクトが活発化している。

韓国の非鉄大手Korea Zinc社は、2017年に硫酸ニッケル生産のためKEMCO社を設立した。2022年時点で80千t/年の硫酸ニッケルの生産能力を保有する。

LG Energy Solutions社(LGES社)は、2022年6月にインドネシアでニッケル製錬所の建設を開始した。同社主導のコンソーシアムを設立し、インドネシア国営International Battery Corporation(IBC)と共同でEVバッテリープロジェクトを開発中である。

(下)に続く



日刊金属のサイト

<https://home.nikkankinzoku.co.jp>

日刊金属既刊公開サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp>

日刊金属 LINE 公式アカウント

<https://lin.ee/H3K9j5C>

# 故銅市況

前週末20日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が前営業日の9,342.00ドルより128.00ドル安の9,214.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,254.90ドルより75.58ドル安の9,179.32ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,485.00ドルより141.00ドル安の9,344.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,386.00ドルより76.00ドル安の9,310.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場9月限は、前営業日の427.55セントより3.90セント安の423.65セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場8月限は、前営業日の7万8,180元より1,400元安の7万6,780元。

週明け22日の東京為替市場TTSレートは、前週末の158.49円より0.05円の円安ドル高、1ドル=158.54円。20日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,214.00ドル。この値と22日の東京外国為替市場USDドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の151万8,000円より2

## アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

### 関東地区（7月前半）

2S=248円～169円、63S=233円～284円、アルミホイール(1P)=250円～264円、ビス付サッシ=161円～170円、エンジンコロ=174円～176円、込合金(機械鋳物)=167円～175円、缶プレス(ソフト)=156円～168円。

### 関西地区（7月前半）

2S=277円～179円、63S=170円～304円、印刷版=165円～267円、アルミホイール(1P)=160円～301円、ベースメタル=150円～231円、機械鋳物=165円～169円、ドライ粉=187円～190円、ビス付サッシ=165円～190円、缶プレス=173円～178円。

万円安の149万8,000円。この日、電気銅建値は150万円に据え置かれた。

### 為替動向

19日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0030ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0880ドル～1.0890ドルで推移した。17日に凡そ4か月ぶりのユーロ高水準を付けたことで利益確定や持ち高調整のユーロ売りドル買いが進んだ。英ポンドも対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0060ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2910ドル～1.2920ドルで推移した。

19日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.15円の円安ドル高、1ドル=157.45円～157.55円で取引を終えた。米国の長期金利が上昇し円売りドル買いが促された。

22日早朝の東京外国為替市場では円相場が小幅ながら上昇。8時30分、前週末17時と比べ0.09円の円高ドル安、1ドル=157.22円～157.23円で推移した。21日、バイデン大統領は民主党の候補者指名を辞退、後継候補としてハリス副大統領を支持すると表明した。拡張財政を掲げる共和党トランプ前大統領の優位性が揺らぐとして長期金利の低下を見込んだ円買いドル売りが優勢になった。円は対ユーロでは下落。8時30分、前週末17時と比べ0.11円の円安ユーロ高、1ユーロ=171.38円～171.42円で推移。

### 故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(7月19日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

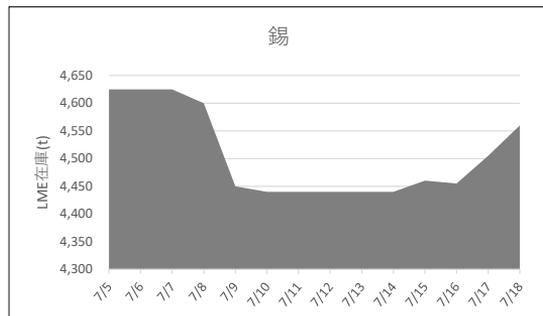
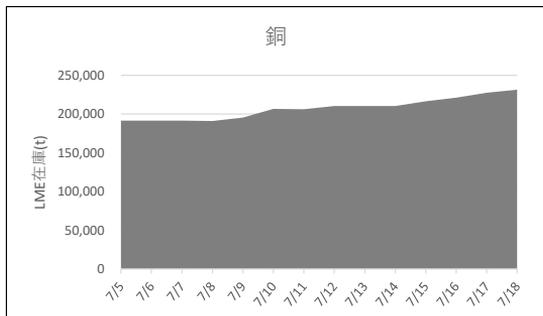
ピカ線が1254～1259、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1219～1224、並銅は1184～1194、込銅（高品位＝約97％）は1174、セバは844～849。コーペルは要り用筋で785、それ以外は770ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋795、それ以外765～775どころの値頃。並青銅鋳物削粉は1036～1041どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1234～1254、上銅新くずが1199～1219、普通上銅が1174～1194、2号銅線が1166～1186、並銅が1164～1184、込銅（94-97％）が1112、込銅（90-93％）が1114、下銅が697～747、セバが809～844、コーペルが725～770、黄銅棒地が720～765、黄銅削粉が715～760、黄銅ラジが680～688、交叉ラジが694～751、黄銅銅鋳物が651～658、送りが461～480、上青銅鋳物が1033～1053、並青銅鋳物が1013～1028、上青銅鋳物削粉が1028～1048、並青銅鋳物削粉が1003～1023どころ。

[nikkankinzoku.co.jp](http://nikkankinzoku.co.jp)

PW NWJ2477779

LME認定倉庫在庫量推移 7月5日～7月18日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は9,179.32ドル

COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落

LME非鉄相場は全面安 直物終値は亜鉛2,716.68ドル、アルミ2,294.69ドル



20日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、19日入電の9,342.00ドルより128.00ドル安の9,214.00ドル。4営業日の続落で4.81%安。この週4.75%の下落。7月に入って2.77%の下落。3か月物の前場売値も、19日入電の9,485.00ドルより141.00ドル安の9,344.00ドル。4営業日の続落で4.97%安。この週4.86%の下落。7月に入って2.92%の下落。LME公認倉庫の現地18日銅在庫は、前日の22万7,425トンより4,000トン増の23万1,425トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、7月限が、19日入電の426.60セントより4.70セント安の421.90セント。5営業日の続落で8.25%安。この週8.25%の下落。7月に入って3.91%の下落。8月限も、19日入電の426.40セントより4.55セント安の421.82セント。5営業日の続落で7.94%安。この週7.94%の下落。7月に入って3.80%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）の銅相場は、8月限が、19日入電の7万8,180元より1,400元安の7万6,780元。4営業日の続落で3.60%安。この週3.07%の下落。7月に入って1.69%の下落。9月限も、19日入電の7万8,370元より1,440元安の7万6,930元。4営業日の続落で3.62%安。この週3.16%の下落。7月に入って1.70%の下落。

#### 錫も続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、19日入電の3万1,700.00ドルより1,005.00ドル安の3万695.00ドル。2営業日の続落で7.82%安。この週9.59%の下落。7月に入って6.98%の下落。3か月物の前場売値も、19日入電の3万1,800.00ドルより950.00ドル安の3万850.00ドル。2営業日の続落で7.52%安。この週9.14%の下落。7月に入って7.08%の下落。LME公認倉庫の現地18日錫在庫は、前日の4,505トンより55トン増の4,560トン。

#### 鉛も続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、19日入電の2,153.00ドルより53.00ドル安の2,100.00ドル。2営業日の続落で4.68%安。この週1.36%の下落。7月に入って2.78%の下落。3か月物の前場売値も、19日入電の2,182.00ドルより36.00ドル安の2,146.00ドル。2営業日の続落で3.20%安。この週1.65%の下落。7月に入って2.90%の下落。LME公

認倉庫の現地18日鉛在庫は、前日の20万8,425トンより275トン減の20万8,150トン。

#### 亜鉛も続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、19日入電の2,737.00ドルより20.00ドル安の2,717.00ドル。4営業日の続落で6.44%安。この週5.33%の下落。7月に入って6.94%の下落。3か月物の前場売値も、19日入電の2,808.00ドルより28.00ドル安の2,780.00ドル。4営業日の続落で6.14%安。この週5.12%の下落。7月に入って6.59%の下落。LME公認倉庫の現地18日亜鉛在庫は、前日の24万2,600トンより2,325トン減の24万275トン。

#### アルミも続落 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、19日入電の2,335.00ドルより23.00ドル安の2,312.00ドル。10営業日の続落で7.35%安。この週4.54%の下落。7月に入って6.98%の下落。3か月物の前場売値も、19日入電の2,397.00ドルより29.00ドル安の2,368.00ドル。6営業日の続落で4.92%安。この週4.67%の下落。7月に入って6.25%の下落。LME公認倉庫の現地18日アルミ在庫は、前日の96万3,825トンより3,750トン減の96万75トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が19日入電の2,745.00ドルより5.00ドル安の2,740.00ドル。4営業日の続落0.54%安。この週7.45%の上伸。7月に入って21.24%の上伸。3か月物の前場売値は19日入電より横ばい2,560.00ドル。この週8.70%の上伸。7月に入って13.27%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は19日入電より横ばい2,520.00ドル。この週横ばい。7月に入って横ばい。3か月物の前場売値も19日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。7月に入って横ばい。

#### ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、19日入電の1万6,205.00ドルより100.00ドル安の1万6,105.00ドル。3営業日の続落で2.01%安。この週3.13%の下落。7月に入って5.04%の下落。3か月物の前場売値も、19日入電の1万6,500.00ドルより140.00ドル安の1万6,360.00ドル。3営業日の続落で2.18%安。この週3.48%の下落。7月に入って5.27%の下落。LME公認倉庫の現地18日ニッケル在庫は、前日の10万1,820トンより720トン増の10万2,540トン。

LME公示価格(US\$)／7月19日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,214.00	30,695.00	2,100.00	2,717.00	2,312.00	2,740.00	2,520.00	16,105.00
	前営業日比	▲ 128.00	▲ 1,005.00	▲ 53.00	▲ 20.00	▲ 23.00	▲ 5.00	0.00	▲ 100.00
	週間増減比	▲ 4.75%	▲ 9.59%	▲ 1.36%	▲ 5.33%	▲ 4.54%	7.45%	0.00%	▲ 3.13%
先物	公示価格	9,344.00	30,850.00	2,146.00	2,780.00	2,368.00	2,560.00	2,520.00	16,360.00
	前営業日比	▲ 141.00	▲ 950.00	▲ 36.00	▲ 28.00	▲ 29.00	0.00	0.00	▲ 140.00
	週間増減比	▲ 4.86%	▲ 9.14%	▲ 1.65%	▲ 5.12%	▲ 4.67%	8.70%	0.00%	▲ 3.48%

海外非鉄金属相場

(7月20日 入電・現地 7月19日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for 銅 AG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for 錫 HG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for 鉛 (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for 亜鉛 SHG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for アルミ HG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for アルミ合金 (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for 北米特殊アルミ合金 (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for ニッケル (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for NY Comex market with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Includes monthly and daily price data.

Table for LME (円ベース/キロ) with columns: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Includes TTS and price changes.

Table for Free Market (米国生産者価格) with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table for NY Market with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

Table for London Market (ドル) with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc.

Table for KLT Market (MYR/KG, 出来高トン) with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, etc.

Table for LME Inventory (トン) with columns: 在庫, 増減. Rows for 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, etc.

Table for Shanghai Inventory (トン) with columns: 在庫, 増減. Rows for 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table for LME Pre-market (ドル) with columns: 先物気配. Rows for 銅, アルミ, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table for Shanghai Market (トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込) with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table for COMEX and Shanghai with columns: COMEX, 上海. Rows for 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛.

※22日のKLTMは入電がありません。

## 非鉄金属製品相場

(7月22日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1820	1825	亜鉛板0.3×3×7	650	650	<b>V V F</b>	
建築用0.3ミリ	1870	1875	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6	69~71
銅大板2×1×2	1950	2025	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0	121~124
銅管(ベース)	1880	2025	鉛板1.5ミリ	600	600	3C×1.6	127~130
水道用管(m当たり)13ミリ	1850	1995	鉛線3ミリ	430	430	3C×2.0	175~178
銅棒25ミリ	1730	1795	<b>軽圧品</b>	大阪	東京	<b>I V</b>	
銅条1.5×100	1785	1840	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	41~43.6
銅線0.9ミリ	1810	1855	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	113~120
銅帯6×50	1690	1795	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	283~301
銅平角線	2010	2025	〃 5052板	835	845	<b>CV-T</b>	
黄銅小板2.0ミリ	1485	1490	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	2172~2308
〃 0.3ミリ	1515	1520	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	3366~3578
黄銅大板2×1×2	1635	1670	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	5640~5995
黄銅管	1965	2060	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	3357~3556
復水器用黄銅管	1935	2030	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4767~5050
黄銅棒快削25ミリ	1230	1260	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	<b>CVV</b> (関西-関東)	
六角棒	1260	1290	<b>貴金属(一般小口向け)</b>			3C×2	157~161
四角棒	1290	1320	白金(グラム)		◎ 5522	4C×2	211~216
鍛造用	1270	1300	パラジウム(グラム)		◆ 5456	6C×2	303~310
ネーバル	1370	1400	金(グラム)		◆ 13467	7C×2	348~356
高力	1370	1400	銀(キログラム)		◆ 167640	<b>合金鉄</b> 5月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1670	1670	<b>レアメタル輸入価格</b>	5月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有	166
黄銅平角線ロール仕上	1870	1880	金属ケイ素(99.99%未満)		355	〃 その他	214.9
黄銅条1.5×100	1480	1505	モリブデン酸化物		5073	フェロシリコン55%以上	250
リン青銅板一般用1.0ミリ	3270	3260	タンタル		58412	フェロクロム4%以上炭素含有	246
〃 パネ用0.3ミリ	3520	3520	マグネシウム		413	フェロモリブデン純分60%以上	4995
リン青銅棒25ミリ	3340	3350	コバルト		4954	フェロバナジウム	3185
リン青銅線3ミリ	3780	3790	インジウム		33934	フェロニッケル33%未満	501.5
洋白板一般用1.0ミリ	3680	3830				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 パネ用1.0ミリ	3830	4000					

## 減摩合金 7月16日改定

(500kg以上、大口価格)

1種	6605
2種	6440
3種	6265
4種	5560
5種	5125
7種	2000
8種	1790
9種	1495

## 銅合金地金 7月1日発表

(標準価格) 大阪

BC 1種	1570
2種	1975
3種	2075
6種	1735
7種	1845
YBSC 3種	1370
LBC 3種	1980
PBC 2種	2110


<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月22日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		66,000 ~ 73,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込				高値	安値	高値	安値					
1 号 銅 線	1349	1352	電 気 銅	◆1460	◆1455	◆1462	◆1457	山元建値	電気銅	1500(19)	金	12,232(22)
2 号 銅 線	1307	—	電 気 亜 鉛	459	453	459	453	( ) 実施日	電気鉛	405(17)	銀	150,510(22)
上 銅 ( 新 切 )	1320	1315	蒸 留 亜 鉛	447	441	447	441		電気亜鉛	493(18)	錫(99.99%)	7,000(22)
雑 ナ ゲ ッ ト	1150	1149	再生ダイカスト亜鉛2種	387	381	387	381					
並 銅	1262	1245	再生亜鉛(98%)	342	336	342	336					
下 銅	1243	1217	電 気 鉛	384	381	384	381					
銅 削 粉	1223	1217	再 生 鉛 1 号	366	356	357	352					
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	371	367	362	358					
新 切 黄 銅 セ バ	989	1000	錫 1 号	◎5500	◎5450	◎5500	◎5450					
コ ー ベ ル	953	956	ア ン チ モ ン	2400	2350	2400	2350					
黄 銅 棒 地	931	944	ニッケル(メッキ用)	2700	2650	2700	2650					
黄 銅 削 粉	925	939	コ バ ル ト	5000	4700	5000	4700					
並 黄 銅	900	880	セ レ ニ ウ ム	4100	3900	4100	3900					
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	792	776	ピ ス マ ス	1600	1500	1600	1500					
交 叉 ラ ジ エ タ ー	848	831	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750					
黄 銅 鋳 物	905	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450					
山 送 り (55%)	510	—	アルミ地金99.70%	◆411	◆407	◆413	◆409					
上 青 銅 鋳 物	1070	—	アルミ二次地金99%	370	365	370	365					
並 青 銅 鋳 物	1068	1059	〃 90%	345	340	345	340					
上 青 銅 鋳 物 削 粉	1063	—	アルミ二次合金ADC12	359	354	362	357					
並 青 銅 鋳 物 削 粉	1053	1043	鋳 物 用 C2BS	484	479	486	481					
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1352	青 銅 合 金 地 金 3 種	1860	1850	1885	1875					
〃 (鋳 物)	1184	—	〃 6種	1600	1590	1595	1585					
リ ン 青 銅 削 粉	1102	1097	ハ ン ダ 錫 60 %	4135	4095	4155	4125					
新 切 洋 白 (電 子 材)	1114	1104	〃 50 %	3570	3520	3590	3560					
新 切 亜 鉛	267	267	〃 40 %	3065	3005	3020	2990					
ダ イ カ ス ト く ず	184	184	減 摩 合 金 2 種	5930	5900	5935	5905					
亜 鉛 ド ロ ス	164	174	〃 4 種	5090	5065	5095	5065					
上 鉛	221	219	〃 7 種	1730	1680	1730	1680					
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	88	88	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		90	90					
活 字 鉛	203	200		〃 ダライ粉		75	75					
新 切 アル ミ 1 級	300	308		高耐食ステンレスSUS316		270	270					
新 切 サ ッ シ 1 級	305	306		耐熱ステンレスSUS310		375	375					
新 切 合 金 1 級	293	291		13クローム 新切		35	32					
機 械 鋳 物 1 級	239	252		ハイス 9種		180	180					
ピ ス 付 サ ッ シ P	248	252										
合 金 削 粉 P	193	194										
込 ガ ラ P	161	165										
カ ン ・ バ ラ	220	216										

